

日本ロールシャッハ学会主催 第12回ロールシャッハ研修会開催案内（第2号通信）

『ロールシャッハ法の理解を深める－投映法とのテストバッテリーを通して－』

初夏の候、会員の皆様におかれましてはますますご清栄のことと存じます。

第12回ロールシャッハ研修会の詳細が決定いたしましたので、第2号通信をお届けいたします。

本研修会では、ロールシャッハ法と他の投映法とのテストバッテリーについて学ぶことで、深く豊かにクライエントを理解していくことを目指します。分科会ではP-F スタディ・風景構成法・SCT それぞれの投映法とのテストバッテリーについて、臨床経験の豊かな講師の先生方とともに学びを深めます。また、初学者の方向けの基礎的コースも準備しています。奮ってご参加ください。

なお、第12回研修会は、2019年12月の開催となります。当日を含む週末は福岡市内にてコンサートが開催されるため、宿泊先の確保がむずかしいことが予想されますので、お早めに宿泊について手配いただけますと幸いです。12月に福岡でお目にかかれまことを楽しみにいたしております。

2019年5月吉日

日本ロールシャッハ学会主催

第12回ロールシャッハ研修会 準備委員会

◇研修会プログラム◇

日時：2019年12月8日（日）10：00～16：30

日程：受付：9：30～10：00

分科会：10：00～12：10 13：30～15：50（12：10～13：30 昼食および休憩）

全体会：16：00～16：30

場所：パピヨン24（福岡市博多区千代1-17-1 千代県庁口4番出口直結）3階

<http://www.papillon24.jp/index.html>

定員：各コース40名程度先着順

受講資格：「臨床心理士」「公認心理師」有資格者、臨床心理学や精神医学を専門とする専門職もしくは大学院生で守秘義務の課せられている方。

参加費：日本ロールシャッハ学会正会員 5,000円

大学院生 3,000円

非会員 7,000円

分科会のテーマと講師

A～Dのいずれかの分科会に参加していただけます。会場の都合上、ご希望に添えない場合もございますので、ご了承ください。

Aコース「ロールシャッハ法とP-Fスタディ」

沼 初枝（立正大学）

P-Fスタディは保健医療、教育、司法矯正など広く臨床現場で活用されています。しかし広く実施されているわりに、他の投映法と比較して研究会やテキストが限られており、実施法や解釈など、ほとんどの臨床家は独学（P-Fスタディ解説 三京房を片手に）にならざるを得ない状況です。ロールシャッハ法などとのテストバッテリーを通して、P-Fスタディがより豊かなアセスメントを提供できるよう、一緒に考えていきたいと思っております。

B コース「ロールシャッハ法と風景構成法」

高橋 昇 (愛知淑徳大学)

ロールシャッハ法と風景構成法の共通点は何でしょうか？両方とも人の心象風景を描き出すことですね。しかし両者は同じではなく、風景構成法で「2人で手を合わせている」人間を描く人はいません。賦活されている心の部分に相違があるのですね。知覚、時間、記憶、言語、表現などの問題について、“その人らしさを描写する”という観点から、臨床に即して考えましょう。ロールシャッハ法と風景構成法の両方を実施している事例を出して下さる方がいれば幸いです。

C コース「ロールシャッハ法と SCT」

深津千賀子 (千駄ヶ谷心理センター)

テストバッテリーを組んだ場合、それぞれの検査結果を統合して心理アセスメントする上では、検査者がパーソナリティ論、病態論をもっていることが大切です。精神力動的な考え方は、ひとの心の働きについて健常から病態まで連続性をもって理解する立場です。その基本を共有した上で、ロールシャッハ法と SCT の検査状況や検査刺激の意味を考え、被検者理解、その後の介入計画を立てる役に立てたいと思います。

D コース「大学院生・初心者コース ロールシャッハ法の解釈の基礎 (初歩的な疑問に答える)」

船津 文香 (九州大学)

吉田加代子 (立正大学)

ロールシャッハ法のスコアリングは学んだけれど「なぜ決定因を知る必要があるの？」「領域の決め方がどのように解釈に結びつくの？」といったことは知らないという方も意外に多いかもしれません。そこで今回は、レクチャーとワークを通じて、実施法の基礎と解釈につながるスコアリングの実際について学びます。なお、名大法を中心に解説しますが、技法は問いません。基礎的な学習は終えたけれど実施経験が少ないという初学者の皆さんの参加をお待ちしています。

全体会

各分科会の報告を行い、シェアリングした後、テーマにつなげた質疑応答を行います。

分科会の検討事例の提供者募集など

【B・C コース】

各コース内容に応じたテストバッテリーを組んだ事例を 1 件ずつ募集いたします。

ロールシャッハ法は自由反応段階・質疑段階ともに、受検者の反応を逐語的に記録したデータを備えていることが望まれます。

各コースの事例提供希望者は、概要を 200 字以内でまとめて、2019 年 9 月 30 日 (月) までにメール (yoshioka@fukuoka-pu.ac.jp) にてお申込み下さい。

所属、連絡先、ロールシャッハ経験年数を明記の上、個人情報に配慮して、Microsoft ワード形式にてお送りください (パスワードを設定し、パスワードは別メールでお送りください)。

【D コース】

初学者の皆さんの疑問に答えるため、事前に質問 (訊きたいこと) を受付いたします。2019 年 10 月 31 日 (木) までに、メール (yoshioka@fukuoka-pu.ac.jp) にてご連絡下さい。

参加申込方法

日本ロールシャッハ学会 HP (<http://jsrpm.jp/>) より、「各種情報の紹介」→「日本ロールシャッハ学会主催 第12回ロールシャッハ研修会(福岡)」→「申込専用サイト」にて、お申し込み下さい。

参加申込期限は 2019年11月8日(金) です。受付は先着順とします。

参加費は、「申込専用サイト」内で手続きを行っていただきます。いったん、振り込まれた費用は返金出来ませんのでご了承願います。

申込専用サイトアドレス：<https://convention.stworld.jp/rams/jsrpm2019/index>

(2019年7月8日(月)からアクセスいただけます)

受付について

当日は、各分科会会場前で受付いたします。掲示をご確認ください。

メールにてお送りします受講者証を印刷したものあるいはスマートフォン等に保存したものをお示しください。クロークはございません。

宿泊・昼食

各自、適宜手配のほどよろしくお願い申し上げます。

分科会を行う会場内では飲食ができませんが、会場(パピヨン24)内に飲食店街(http://www.papillon24.jp/restaurant_stor/index.html)がありますので、ご利用ください。会場近くにも飲食店やコンビニがございます。

臨床心理士資格認定協会の研修ポイント

日本臨床心理士資格認定協会教育・研修規定別項・第2条(3)「本協会が認める関連学会での諸活動への参加」として、2ポイントが認められています。

研修会に関する連絡先

日本ロールシャッハ学会主催第12回研修会運営事務局

エス・ティー・ワールド コンベンション事業部

受付時間 平日 10:00~18:30

TEL:092-288-7577 FAX:092-738-3791

E-mail: jsrpm2019@stworld.jp

日本ロールシャッハ学会主催第12回研修会 準備委員長 吉岡和子

E-mail : yoshioka@fukuoka-pu.ac.jp

*研修会についての連絡は、メールにてお願いいたします。

なお、メールの件名に【12回研修会】と入れて送信してください。

パピヨン24へのアクセス

地下鉄によるアクセス

地下鉄「千代県庁口」・4番出口と直結

福岡空港・博多駅方面からは「中洲川端」で乗り換え(エスカレーターで1番ホームへ)、貝塚行き(箱崎線)にご乗車下さい。

天神方面からは貝塚行き(箱崎線)にご乗車下さい。

バスによるアクセス

西鉄バス停「千代町」前

博多駅からはセンタービル前E番乗り場にて（九大前・九大病院・吉塚営業所行き）にご乗車下さい。

天神からは大和証券前14番乗り場にて（九大前・九大病院・吉塚営業所・月見町行き）にご乗車下さい。

